

長老ヶ岳 (916.9m)

[※ 実施日—2025年3月25日(火)]

(ハイライトシーン)

※弥生班 計6名



① (長老山森林公園の登山口)



② (整備された登山道)



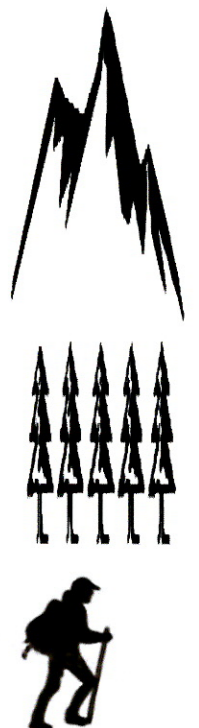
④ (雪景色—その2)



③ (雪景色—その1)



⑤ (長老ヶ岳山頂)



長老ヶ岳 (916.9m)

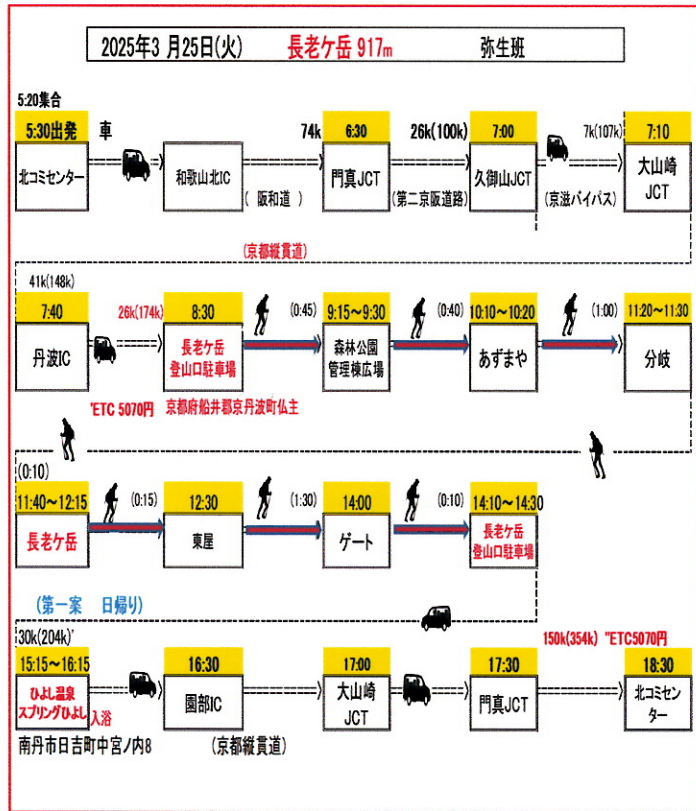
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) -----2025年3月25日(火)

(メンバー) -----計6名

木村、中濱、八木、大森、有本、五所尾

※(行程) [予定]



※[はじめに]

(長老ヶ岳)

○長老ヶ岳は、丹波高地に属する山で、京都丹波高原国定公園に選定。

山頂には一等三角点「長老ヶ岳」が設置されている。山頂付近には鉄塔が立ち並び、シャクナゲやイワカガミの群生地があり、晴れた日には青葉山、大江山など北近畿の山々および日本海、南東側には愛宕山や大峰山まで望める。

(写真1) (長老山森林公園 駐車場)

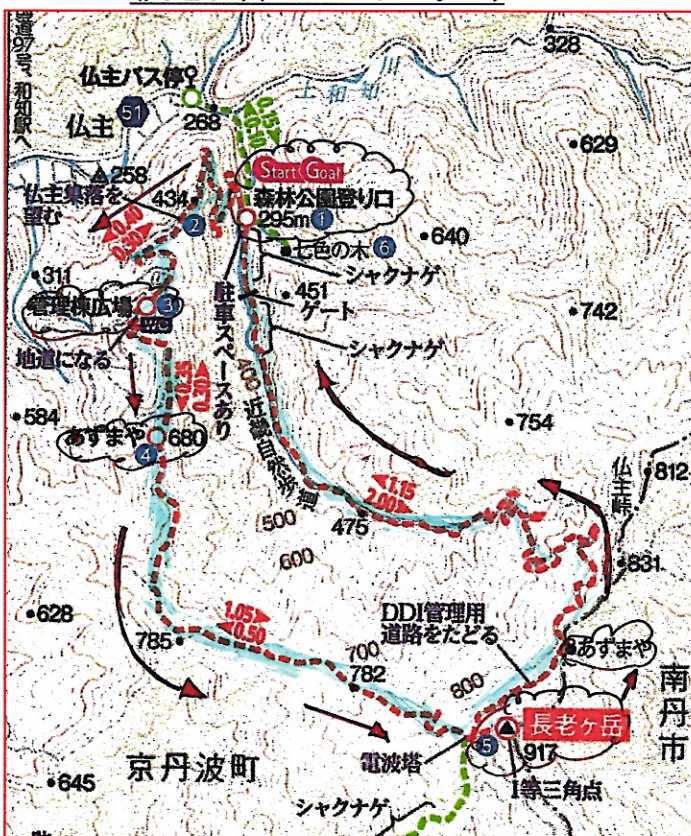


- ・和歌山を午前5時30分出発、現地8時間30分到着。
先ずはラジオ体操で体を解す。

(写真2) (登山口)



※ (長老ヶ岳のロードマップ)



(写真3)

(整備された登山道)



・登山道は整備され落葉上の歩行は心地良い。

(写真6)

(雪景色一その2)



(写真4)

(残雪)



・途中から思いがけなく残雪があった。

(写真7)

(雪景色一その3)



(写真5)

(雪景色一その1)



・気温は暖かいが、山頂近くになると一帯が雪景色となる。

(写真8)

(雪景色一その4)



・雪を避けて進む。

(写真9)

(いわかがみの葉)



- ・途中で、いわかがみの葉の群生がある。花の季節(4~7月)に登ってみたい。

(写真12)

(長老ヶ岳の南側)



- ・長老ヶ岳から南へ30分、884mのピーク。左側は音海、右側は長老ヶ岳の看板があった。

(写真10)

(山頂への急登)



- ・山頂への最後の急登。山頂が見えて笑顔に!! 南斜面は、積雪が溶けている

(写真13)

(ひよし温泉)



- ・地元の温泉施設「スプリングひよし」で入浴。

(写真11)

(長老ヶ岳山頂—その1)



- ・10時30分、予定より30分早く到着。916.9mの山頂。黄砂と花粉で遠くの山々は霞んでいた。

【最後に】

- 当日は晴天で暖かく山行日和であったが、黄砂と花粉の影響で遠くの山々が霞んでいた。
- 登山道は標識やリボンで整備はされているが、出くわす登山者はなく、近日の登山者の跡もなかった。
- 思わぬ残雪があり、歩きづらさがあったが雪上歩行を楽しめた。
- 長老ヶ岳山頂からは360度の展望があり爽快感があった。ただし、当日は黄砂の関係で遠くの山々や日本海方面が霞んでいたのが残念であった。
- 下山は周回コースからピストンコースに変更したため、早めに下山できた。
- 帰路のひよし温泉でのんびりと1時間15分入浴し、初春の日差しを浴びて清々しい山行であった。